



【説明】 特別支援学校における 授業改善の取組

令和7年（2025年）2月7日（金） 13:00～13:40

北海道立特別支援教育センター

主任研究員（自閉症・情緒障がい教育室兼発達障がい教育室長）日小田 泰 昭

研究員（知的障がい教育室）荒 井 美 聡

1 はじめに

(1) 9月の研修の振り返り

講義・交流

自校での授業実践に向けて

学習指導案の作成

単元・授業の構想

指導計画や本時案の作成
＋
コースの視点を切り口に
具体化、充実

自校での授業実践

令和6年度 授業づくりレベルアップ研修講座

【交流・協議1】授業の交流と課題の整理

～次の授業づくりの視点や項目を基に、自身の授業を語りましょう！～

【視点1】育成を目指す資質・能力の明確化

- ・単元（題材）の目標は設定しているか。取り扱う学習内容は、どの教科のどの内容か。
- ・単元の評価規準を作成し、位置付けているか。
- ・児童生徒の実態と評価規準を踏まえ、学習評価の3つの観点それぞれにおいて、児童が目標を達成した具体的な姿は、明確になっているか。
- ・単元の目標を踏まえ、どの時間にどの目標に向けた指導を行うかが明確になっているか。
- ・単元の評価規準を踏まえ、どの時間にどのような方法で評価を行うか。
- ・1単元時間で本時の目標を達成できるよう、導入・展開・終末をどのように考え、時間配分しているか。
- ・1単元時間において、本時の目標に正対した学習活動を位置付け、単元の評価規準との関連を図り、児童生徒の姿を見取っているか。

【視点2】内容や時間のまとまりを見通した単元（題材）のデザイン

- ・単元の目標の達成に向け、児童生徒の主体的に学ぶ姿や対話的に学ぶ姿、深い学びの姿を、どのようにイメージしているか。
- ・単元を通して、主体的に学習に取り組めるよう、自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに（どのように）設定しているか。
- ・単元を通して、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに（どのように）設定しているか。
- ・学びの深まりをつくりだすために、児童が考える場面と教師が教える場面をどこに（どのように）設定しているか。

【視点3】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を支える手立て

- ・一人一人の特性・学習進度等に応じた重点的な指導や指導方法・教材等工夫は、どのように行っているか。
- ・一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会をどのように設定しているか。
- ・一人一人のよい点や可能性を生かし、多様な他者と協働する場面をどのように設定しているか。

教材作成コースは、
【視点1】と【視点3】

授業改善コースは、
【視点1】と【視点2】

学習評価充実コースは、
【視点1】

の項目について、交流をしましょう。

【参考資料】 令和5年度授業づくりに関する指導資料（小学校）
令和2年度小学校教育課程編成の手引

【授業づくりの視点】

(2) このコマの流れ

- ① 特別支援学校における授業改善の取組事例の紹介
- ② 取組事例を「授業づくりの視点」から見る・考える
(ランダムでのペア・ワーク、15分程度)
 - ・どのようなところがよいと思ったか。
 - ・そう思った理由は何か。
 - ・他に気付いたことは、どのようなことか。
 - ・なぜ、そのように思ったか。

など

- ③ このコマのまとめ

2 特別支援学校における授業改善の取組

- 「授業づくりの視点から、授業を見る・考える」ことを意図した取組事例の紹介です。
- 取組事例は、特別支援学校における校内研究等の取組を基に、今回の研修用に一部省略や変更をしてお示ししています。

(1) A 学校の取組事例〔Before〕

単元名	運動会	期間	○月○日（○）～○月○日（○）
学習集団	小学部 高ブロック		
目標	○持つ、引く、走るなどでバランスよく体を動かす。（知識及び技能） ○活動の流れや一緒に取り組む友達がわかる。（知識及び技能） ○自身の役割を理解し、活動に取り組む。（思考力、判断力、表現力等） ○活動を成し遂げ、満足感や成就感を得る。（学びに向かう力、人間性等）		
関連する教科等	生活、国語、算数、音楽、図工、体育、道德、特活、自立活動		
主な学習活動	具体的な指導内容	時数	
オリエンテーション	・ 単元の名前や大まかな学習内容 ・ 各種目の概要 ・ 目標の確認	1	
役割の決定 ポスター、案内状づくり	・ 係の発表 ・ キャプテン、スローガンの決定 ・ 種目内容や並び方の確認 ・ 応援の仕方の確認 ・ ポスター、案内状づくり	11	
徒競走練習	・ コース、出走順の確認 ・ 整列、移動	12	
団体競技練習	・ 並び方、振り、隊形移動 ・ 体の動かし方、バランス		
リレー練習	・ コース、バトンの受け渡しの確認 ・ 整列、移動		
全校練習	・ 入退場の練習 ・ 開閉開式の練習 ・ 応援合戦の練習	5	
総練習	・ 当日のプログラムに沿った練習	6	
単元の振り返り	・ 単元や運動会の振り返り ・ 表彰 ・ 次単元の予告	2	

(1) A 学校の取組事例〔After〕

単元名	学校祭	期間	○月○日（○）～○月○日（○）		
学習集団	小学部 高ブロック				
目標	○出来事や経験したことを伝え合う経験を通して、色々な語句や文の表現に触れること。（知識・技能） ○登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすること。（思考力・判断力・表現力等） ○活動を成し遂げ、満足感や成就感を得ることで、次の行事へ意欲、期待をもつ（学びに向かう力、人間性等）				
関連する教科等	生活、国語、図工				
主な学習活動		具体的な指導内容			時数
オリエンテーション		演目や内容を知る			2
		劇のあらすじを知る			2
		自身の目標を考える 案内状づくり			2
練習①		演目練習			20
練習②		バック絵、小道具の製作			
鑑賞会		取組の様子をビデオで振り返る よりよい発表を目指して練習する			5
総練習		当日のプログラムに沿った練習			6
単元の振り返り		単元や行事の振り返り 次単元の予告			2

(2) B学校の取組事例

教科等名	美術科
単元名	カレンダーを作ろう
単元の目標	・モダンテクニックの技法が分かり、形や色彩を表現する。 ・季節に適した色や基になる素材を考え、構成や配色を工夫する。 ・制作活動や作品から、色や形のよさや面白さなどを感じたり、発表したりしようとする。

時数	主な学習活動	評価の観点		
		知	思	主
1	・カレンダーの担当する月を決める。 ・季節に適した色や基になる素材を調べる。	○		
2	・デカルコマニーの技法を使って絵を描く。 ・配色表を見て、色を選んで絵を描く。	○		
3	・デカルコマニーの技法で、色や表現する素材などを考えて絵を描く。		○	○
4	・マーブリングの技法を使って絵を描く。	○		
5	・マーブリングの技法で、色や表現する素材などを考えて絵を描く。		○	
6	・カレンダーに使う作品を選び、クラスで検討する。		○	○

※ 全10時間扱いですが、ここでは7時間目以降を省略しています。9

(3) C学校の取組事例

教科等名	生活単元学習
単元名	砂入りペットボトルを地域に配ろう
単元の目標	・ 砂入りペットボトルがどのように地域の人々の役に立っているのかを理解する。 ・ 多くの人に砂入りペットボトルを利用してほしいというねらいをもって、配布会のポスターやチラシを作る。 ・ 配布会を通して、地域社会の一員であるという自覚をもち、地域社会に貢献する喜びを感じる。

「砂入りペットボトル」は、冬の凍結路面などにまく、すべり止めの砂が入ったペットボトルのことです。

社会科 + 国語科 の単元

作業学習と連動した単元

(3) C学校の取組事例

時数	主な学習活動	評価の観点		
		知	思	主
1	・単元の学習内容を知る。 ・砂入りペットボトル作成の依頼元である地域の企業の訪問に向けた役割分担と準備をする。	○		
2～3	・企業を訪問する。	○		
4	・砂入りペットボトルの作成や配布をする理由について調べたり考えたりする。		○	
5	・砂入りペットボトルの配布会について知らせるチラシやポスターに載せる内容を考えて、作成する。 ・作成したポスターについての発表と、投票による選出をする。		○	
6	・砂入りペットボトルの配布会に向けて、地域のお店などを訪問し、ポスターの掲示を依頼する。		○	
7～8	・砂入りペットボトルの配布会に向けた役割分担、会場の設営や配布するときの練習をする。		○	
9～10	・地域の方へ、砂入りペットボトルの配布を行う。		○	○
11～12	・砂入りペットボトルの配布会を振り返る。		○	○

(3) C 学校の取組事例

※ 研修当日に、写真を提示するとともに、補足して説明をします。

砂入りペットボトル配布会に来た
地域の方にインタビューをして、
それを動画に撮って見る。

砂入りペットボトル配布会に来た
地域の方に書いてもらった
アンケートを見る、
コメントを集めて発表する。

砂入りペットボトル配布会に
来た人の人数を
昨年と今年とで
棒グラフにして比べる。

砂入りペットボトルの作成や
配布会の取組と
地域の企業や人々との関係を
図で示す。

3 取組事例を「授業づくりの視点」から 見る・考えるペア・ワーク

① 特別支援学校における授業改善の取組事例の紹介

② 取組事例を「授業づくりの視点」から見る・考える
(ランダムでのペア・ワーク、15分程度)

- どのようなところがよいと思ったか。
- そう思った理由は何か。
- 他に気付いたことは、どのようなことか。
- なぜ、そのように思ったか。

など

③ このコマのまとめ

4 まとめ

このコマのまとめ

授業における 工夫・改善などについて、 「授業づくりの視点」から 確かめる

この単元の目標は何だったか？
児童生徒のどのような姿を目指す
単元だったか？

学習活動や教師の働き掛け、教材
の工夫は、目標としていた児童生徒
の姿に向けたものとなっていたか？

令和6年度 授業づくりレベルアップ研修講座

【交流・協議1】授業の交流と課題の整理

～次の授業づくりの視点や項目を基に、自身の授業を語りましょう！～

【視点1】育成を目指す資質・能力の明確化

- ・単元（題材）の目標は設定しているか。取り扱う学習内容は、どの教科のどの内容か。
- ・単元の評価規準を作成し、位置付けているか。
- ・児童生徒の実態と評価規準を踏まえ、学習評価の3つの観点それぞれにおいて、児童が目標を達成した具体的な姿は、明確になっているか。
- ・単元の目標を踏まえ、どの時間にとどの目標に向けた指導を行うかが明確になっているか。
- ・単元の評価規準を踏まえ、どの時間にとどのような方法で評価を行うか。
- ・1単位時間で本時の目標を達成できるよう、導入・展開・終末をどのように考え、時間配分しているか。
- ・1単位時間において、本時の目標に正対した学習活動を位置付け、単元の評価規準との関連を図り、児童生徒の姿を見取っているか。

【視点2】内容や時間のまとまりを見通した単元（題材）のデザイン

- ・単元の目標の達成に向け、児童生徒の主体的に学ぶ姿や対話的に学ぶ姿、深い学びの姿を、どのようにイメージしているか。
- ・単元を通して、主体的に学習に取り組めるよう、自身の学びや姿を自覚できる場面をどこに（どのように）設定しているか。
- ・単元を通して、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに（どのように）設定しているか。
- ・学びの深まりをつくりだすために、児童が考える場面と教師が教える場面をどこに（どのように）設定しているか。

【視点3】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を支える手立て

- ・一人一人の特性・学習進度等に応じた重点的な指導や指導方法・教材等工夫は、どのように行っているか。
- ・一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会をどのように設定しているか。
- ・一人一人のよい点や可能性を生かし、多様な他者と協働する場面をどのように設定しているか。

教材作成コースは、
【視点1】と【視点3】

授業改善コースは、
【視点1】と【視点2】

学習評価充実コースは、
【視点1】

の項目について、交流をしましょう。

【参考資料】 令和6年度授業づくりに関する指導資料（小学校）
令和2年度小学校教育課程編成の手引

【授業づくりの視点】